

茨城県支部

石岡市中心市街地活性化基本計画と茨城空港開港に関する調査研究

毎年、茨城県支部では調査・研究事業に取り組んでいますが、今回は県内で不況突破の糸口の1つとして期待される、2大プロジェクト

(1) 県内初の認定「石岡市中心市街地活性化基本計画」

(2) 平成22年3月に開港する「茨城空港」

に焦点を当てて、6名の調査委員により、調査研究を行いました。今回の不況を、ただ単に在庫調整等で「耐えて待つ」という従来に見られる守り中心の姿勢だけでは突破できない大きな波と日常の診断支援現場で痛感し、この2大プロジェクトを契機として、本腰を入れて地域活性化を図るためには、どのようにこのプロジェクトを活用するのか、という視点で中小企業診断士流に分析し、提言を加えました。

調査を進める中で、本県では類を見ないこの2大プロジェクトではありますが、総不況の経済環境下でもあり、否定的あるいは消極的な意見にも数多く出会いました。我々診断士は、あくまでもその本分である、「冷静さ」と「現場検証」を重ねることを基本に検討し、この「絶好のチャンス」を活性化につなげる「攻めの姿勢」を確認したところです。

また、不況脱出を急ぐあまり、短期視点での活性化や成果ばかりに目が向きやすい状況は、十分理解するものの、本調査では、あえて中期視点に立脚した地域活性化への取り組みの重要性も意識し、強調したつもりです。

なお、この2大プロジェクトは、報告書作成段階ではこれからスタートをきるものであり、その上では調査委員も情報収集に苦勞いたしました。しかし、情報が定まらない中で検討を重ね、結論として、2大プロジェクトは、課題を克服しながらこれから始まる一つひとつの活動を通じて、必ず地域活性化につながるものと確信いたしました。

本調査が、これからの地域活動に少しでも参考になれば幸いと存じます。